



MICRO CADAM Helix  
実践操作解説書

メニューバー [ファイル-簡易出力]

2020年6月

株式会社CAD SOLUTIONS

## ■ 本資料の目的

- MICRO CADAM Helixのメニュー・バー [ファイル(F)] の印刷機能の概要をご理解いただくために作成された資料です。

## ■ 前提条件

- Windows版MC Helix 20xxの環境であること。
- MC V3, V4関連の記述は含まれません。
- 画面イメージはWindows 7ですが、他のWindows OSでも同じ手順です。

## ■ 留意事項

- 各設定における詳細については、『操作解説書』をご参照ください。

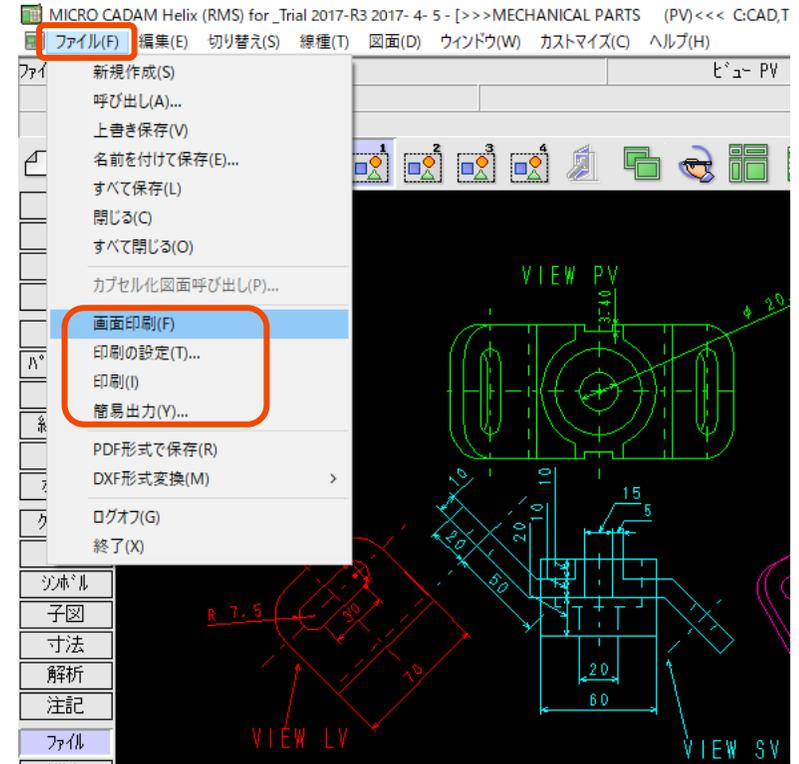
当資料の内容は、2015年6月時点（MICRO CADAM Helix 2015R3）の機能をベースに記述しております。  
また、OSはWindows7です。  
今後の機能改善・追加によっては記述内容が変更される場合があります。

1. メニュー・バー [ファイル(F)] の印刷機能概要
2. 印刷環境の準備：プリンターを設定する
3. [画面印刷(F)] の機能
4. [印刷の設定(T)] の機能
5. [印刷(I)] の機能
6. [簡易出力(Y)] の機能

# 1. メニュー・バー [ファイル] の印刷機能概要

- メニュー・バー [ファイル(F)] の印刷機能は、もっとも手軽な方法で図面出力を行うことができます。
- 図面出力には四つのメニューが用意されており、各々の特徴は次の通りです。

- [画面印刷(F)]
  - 画面印刷 (画面のハードコピー)
- [印刷の設定(T)]
  - アクティブ・ウインドウ全体、または指定範囲の簡易出力
- [印刷(I)]
  - 同上
- [簡易出力(Y)]
  - アクティブ・ウインドウ全体、指定範囲、または図枠範囲 (プロットデータ登録図面) の簡易出力、要素に付加されたH、M、Lの線幅出力に対応



## 2. 印刷環境の準備：プリンターを設定する

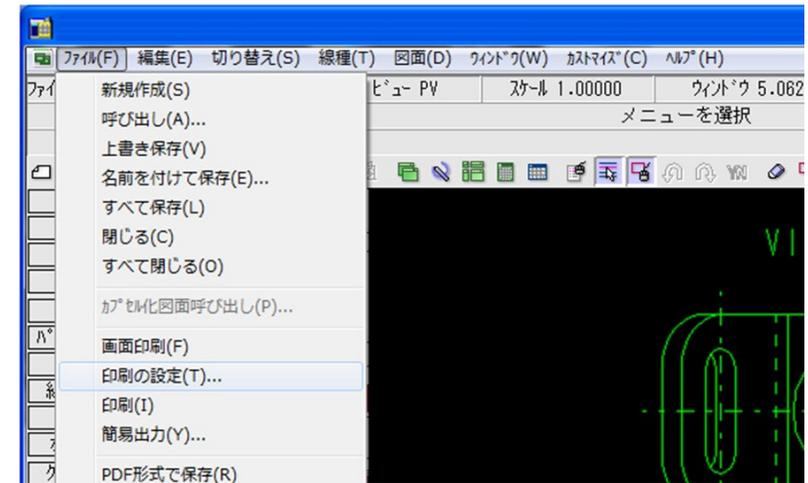
- Windows上でプリンターを作成していない場合は、Windowsのスタートメニューから【デバイスとプリンター】→【プリンタの追加】ボタンを選択してプリンターの追加を行います。
- 他のWindowsアプリケーションでプリント出力できる状態にあればOKです。



### 3. [画面印刷(F)] の機能

#### ■ メニュー「画面印刷」

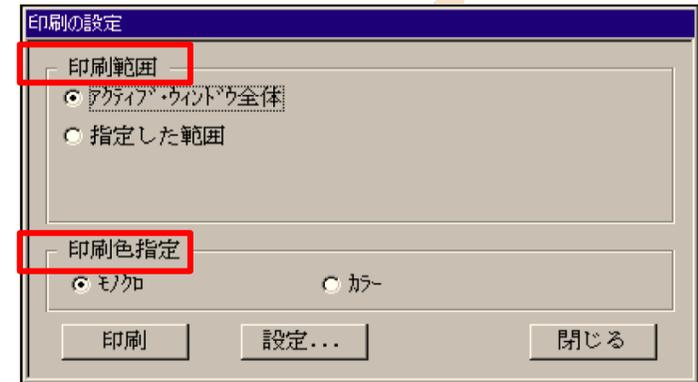
- 図面ウィンドウに表示されているすべてのデータをプリンターに出力するための簡易出力機能（画面のハードコピー機能）です。
- 出力範囲やサイズの指定、印刷品質などの細かい設定はできません。



## 4. [印刷の設定(T)] の機能

### ■ 「印刷の設定」 ダイアログ・ボックス

- 印刷範囲
  - [アクティブ・ウィンドウ全体]
  - [指定した範囲]  
※印刷する範囲の対角点を選択または指示によって指定します。
- 印刷色指定
  - [モノクロ] または [カラー] を選択します。
- [印刷]
  - ボタンを押すと印刷が開始されます。



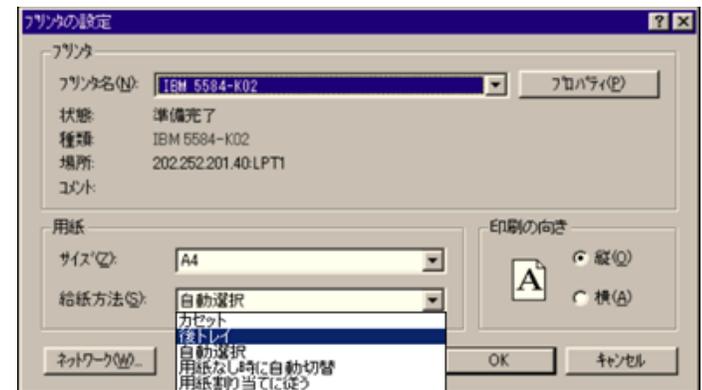
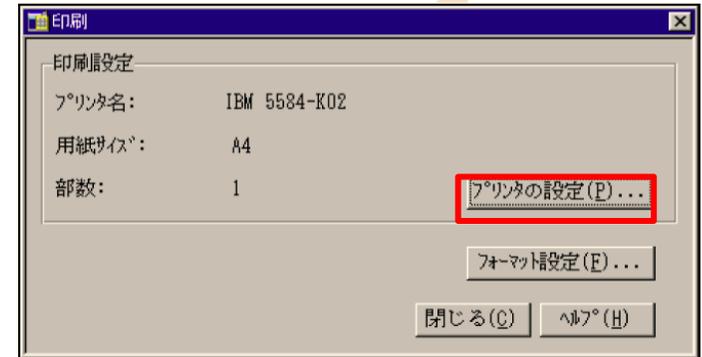
### ■ 「印刷」 ダイアログ・ボックス

- 「印刷の設定」ダイアログ・ボックスで [設定...] ボタンを押すと、現行、出力先として認識されているプリンター名、用紙サイズ、部数が表示されます。
- 変更不要の場合、次の手順を省略してフォーマット設定を行うか、[閉じる] ボタンを押してすぐに印刷ができます。



■ 「印刷の設定」 → [設定] → [プリンタの設定]  
ボタン

- このダイアログ・ボックス内のプリンター名は、他のWindows アプリケーションと共通です。
- 次の項目を設定することが可能です。
  - プリンタ : 出力先プリンターの変更
  - 用紙 : サイズと給紙方法の指定
  - 印刷の方向 : 縦・横の印刷方向を指定



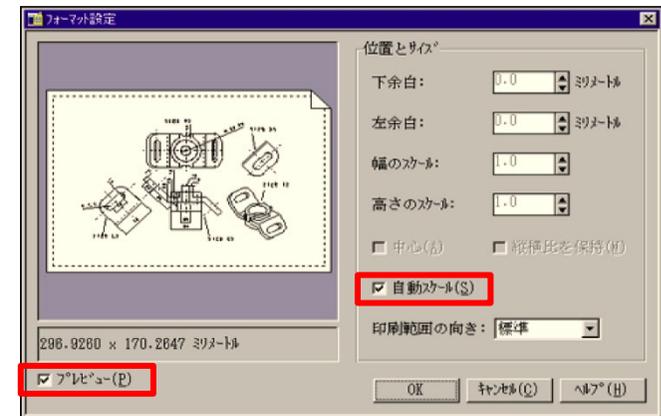
## ■ 「印刷の設定」 → [設定] → [フォーマット設定] ボタン

- 自動スケール : ONの場合
    - 印刷対象範囲にスケールをかけて用紙いっぱいに印刷します。
  - 自動スケール : OFFの場合
    - 下記の設定が有効になります。
      - 下余白 : 上下の移動を行う。
      - 左余白 : 左右の移動を行う。
      - 幅のスケール : 幅 (横) の比率を指定する。
      - 高さのスケール : 高さ (縦) の比率を指定する。
      - 中心 : ON にすると中心合わせになる。
      - 縦横比を保持 : ON にすると幅と高さのスケールは同じ値になる。
- 「幅のスケール」で指定し、「縦のスケール」はグレー表示になる。

- ・ 中心 が ON の場合、余白の調整はできません。
- ・ 自動スケール が ON の場合、余白とスケールが調整できません。

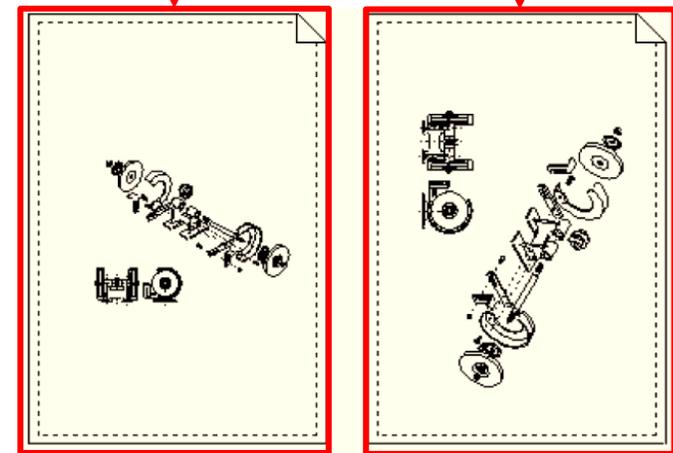
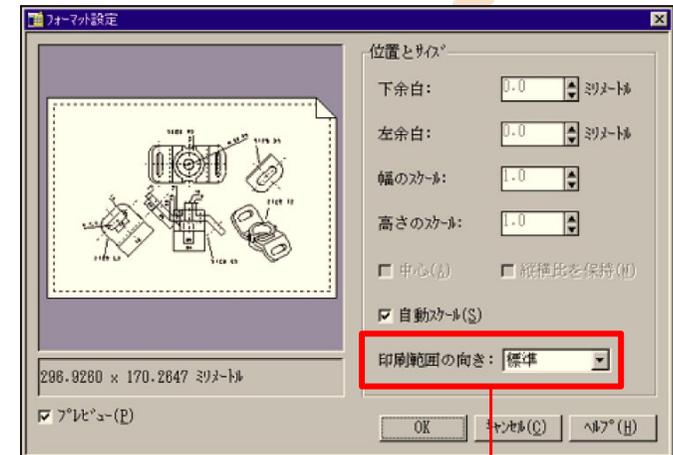
微調整を行うときは、OFFにすること。プレビュー画面のハンドルをドラッグして印刷範囲のサイズを変更できます。

- プレビュー : ON
  - 印刷状態を確認しながら微調整ができます。



## – 印刷範囲の向き

- 印刷範囲を用紙上で回転して配置するかどうかを選択します。
- 「標準」の場合  
印刷範囲を回転しないでそのままの状態を用紙上に配置します。
- 「回転」の場合  
印刷範囲を 90 度回転して用紙上に配置します。

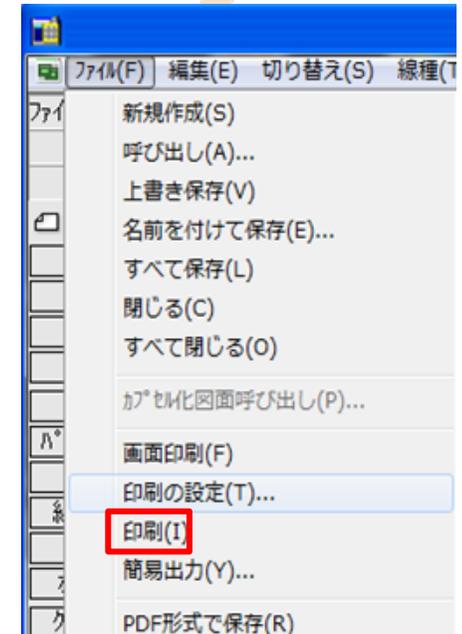


「印刷範囲の向き」は横長の図面を出力する場合、「回転」を選択したほうが効率よく紙面を使用できます。

右図は、自動スケール を ON にした場合の例です。

## 5. [印刷(I)] の機能

- アクティブな図面ウィンドウに表示されている状態をそのままプリンターに出力する機能です。
  
- 次の要素は出力できません。
  - 座標軸
  - 点
  - グリッド
  - イメージ・データ
  - 操作上表示される補助的な要素
    - (例) ラバーバンディングやドラッグングの表示
  
- 画面印刷機能と異なり、[印刷の設定(T)] で出力範囲や印刷色などを設定することができます。
  
- Windowsアプリケーション共通の印刷機能を利用することができるため、プリンターの [プロパティ(P)] を表示させて印刷品質を設定することもできます。



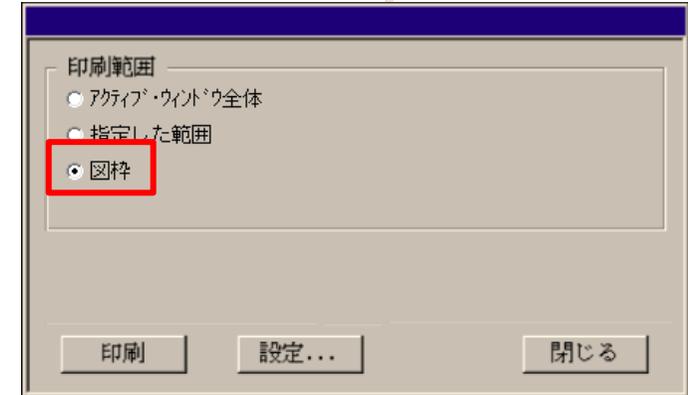
## 6. [簡易出力(Y)] の機能

- 図面にプロット・データが定義されている場合、プロット・データの出力範囲を指定することができます。
- <出力(PLOT)>での出力操作と同様、プロット・ファイルを作成できます。
- メニュー [簡易出力(Y)] 機能では、要素に付加されたH、M、Lの線幅を出力することができます。
  - 印刷範囲
    - [○アクティブ・ウィンドウ全体]
    - [○指定した範囲]
    - [○図枠]

現在有効なプロット・データが指定され、出力範囲が矩形で囲まれて表示されます。

### ■ 制限事項

- 出力パラメーター・ファイルで定義されている情報は使用しない。
- 出力範囲以外のプロット・データの設定情報は使用しない（出力する範囲としてプロット・データの出力範囲を指定したとき）。
- 出力できる用紙サイズは、  
A4サイズ（210mm×297mm）、  
A3サイズ（297mm×420mm）、  
A2サイズ（420mm×594mm）。
- それ以外の用紙サイズを選択している場合、そのサイズが収まるいずれかの用紙サイズになります。
- A4サイズおよびA3サイズに収まらない用紙サイズは、すべてA2サイズになります。
- カラー印刷はできません。





※当資料内の文章・画像・商標等（以下、「データ」）に関する著作権とその他の権利は、弊社または原作者、その他の権利者のものです。企業等が非営利目的で使用する場合、個人的な使用を目的とする場合、その他著作権法により認められている場合を除き、データは弊社、原作者、その他の権利者の許諾なく使用することはできません。

※データ等のご利用またはご利用できなかったことによって生じた損害については、弊社は一切の責任を負わないものとし、いかなる損害も補償をいたしません。

※掲載されている内容は2020年6月時点のものです。内容は、事前の予告なしに変更することがあります。

MICRO CADAM、MICRO CADAM Helix は、株式会社CAD SOLUTIONSの商標です。  
他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。